

八代よかところよっといで政策

～人の力が復興力～

地域課題 1. 【熊本県】令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続を実現するための取り組みについて

熊本学園大学 社会福祉学部 3年 西釜千尋

1. はじめに

私は、今回の政策提言をするにあたって、豪雨の被災地域の中でも「八代市」を舞台として選んだ。理由は私の地元である八代市が、豪雨だけではなく熊本地震の被災地でもあり、繰り返す災害に負けないレジリエンスのある八代を人材から育てたいと考えたからである。

2. ビジョン

① 10年後の八代の姿

「郷土八代を愛し、八代の未来を考え、八代に関わる人材が育ったまち」

② ビジョン策定の理由

私は「八代を創るのは人材」と考える。社会を動かすためには人が不可欠だからである。少子高齢化が進む八代で、10年後、子どもも大人もすべての人がいきいきできる八代になってほしいと思いこのビジョンにした。

3. 課題と政策提言

ビジョンを達成するために、今回はターゲット別に3つの課題を設定し、解決策として政策提言をする。

課題①八代の知識と経験が子どもたちの中で結びついていない

課題策定のきっかけ：私が友達に八代のいいところを聞かれた際に自信をもって答えることができなかった。八代のことはよく知っているはずなのに、楽しい経験として

紐づいていないのではないかと考えた。

【政策①】「八代ロゲイニングの授業化」

この課題を解決するために、「八代ロゲイニングの授業化」を提言する。そもそも謎解きロゲイニングとは、八代市内のまち全体をフィールドに謎解きしながら文化や歴史・食のスポットを巡る体験型アクティビティである。

検証：謎解きロゲイニング in やつしろに参加してみた。

イベントでは体験やスポットごとにポイントが設定され、そのポイントを集めると優勝に近づくため、自分から動きたくなる仕組みが整っていた。また、地元の人も知らないような新たな発見が多くあり、十分楽しむことができた。

授業化にあたっての変更点

ターゲット：八代市の中高校生

目的：将来の八代の関係人口を増やすこと

時間：八代学の時間で準備・説明

費用：学生一人当たり1000円

問題点：教師の負担増→会社に委託

メリット：集客の必要性なし、子どもたちが八代で心が動く体験ができる。

課題②災害に備えた人のコネクションが十分でない。

課題策定のきっかけ：「災害と社会」のフィールドワークにて令和2年7月豪雨の被災

災地である「八代市坂本町」を訪れた。訪れた当時、災害から1年が経過していたにも関わらず、多くの災害の爪痕が残っていた。坂本町で被災した上村さんにお話を聞くと、「(やはりボランティアの力は大きいものがありましたか、という問いに対して) ボランティアの方がいなかったらもう絶対にダメです(中略) コネクションがあるかどうかでのがものすごく大きいですね。ない人はほしかったと思いますよ、県外の方でも」とおっしゃっていた。そのため、物流を整えることの他にも、人をどうやって被災地に結びつけるかが課題だと考えた。

【政策②】きっかけ食堂 ver.八代

災害が起こってから一過性のものではなく、恒常的な人のつながりが必要であるため、私は「きっかけ食堂 ver.八代」の開催を提言する。

きっかけ食堂とは、東日本大震災を受けて全国各地で毎月11日に行われる、東北を思う酒場(きっかけ食堂公式HPより引用)である。被災地の食材を使うこと、売り上げを被災地に寄付することが特徴であり、災害の記憶を持った八代にも必要だと考えた。

八代で開催するにあたっての変更点

ターゲット：八代市民および八代を支援してくれる方

開催期日：毎月14日(熊本地震)

開催資金：クラウドファンディングおよび参加費：1000円

実施形態：食堂だけではなく、災害ボランティアや当時の語り部の方を呼んで生涯学習の場にする。

課題③千羽鶴は被災地にいらない？問題

課題策定のきっかけ：熊本地震や東日本大震災の時に千羽鶴が被災地に送られて、被災地が処分に困っているというニュースを見た。賛成派と反対派の意見を目にする中で、千羽鶴が被災地の力になる方法が必要ではないかと考えた。

【政策③】千羽鶴オークション～平和への祈り展～の開催

千羽鶴オークションとは

贈られてくる千羽鶴を被災地以外の自治体が集め、オークションを開いて支援金を集めることである。

千羽鶴オークションの流れ

- ① 災害が発生した地域から支援要請が届く
- ② オークションを開催する地域が千羽鶴の回収を呼び掛ける
- ③ 千羽鶴をつくった人が回収する自治体に送る
- ④ 回収した自治体が千羽鶴オークションを開催
- ⑤ 売り上げは支援金として被災地へ

平和への祈り展

千羽鶴オークションで捌ききれなかった千羽鶴は平和への祈り展として展示する。展示会場は熊本県阿蘇市の湧水トンネルや、上通り下通り、八代市の本町アーケードを予定している。

【参考文献】

「被災地に千羽鶴はいらない」が議論巻き起こす 被災者を「傲慢」と怒る人たちの理由とは: J-CAST ニュース【全文表示】
<https://www.j-cast.com/2016/04/27265506.html?p=all>